

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	3010113
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分 継続

部等名	課等名	班等名
市民経済環境部	農政課	土地改良班

事業(予算)名	農業用水路整備事業
---------	-----------

総合計画体系	施策の大綱	第3章 みんなが活躍し、農・商・工がともに輝く活力あるまち						
	施策	施策1 魅力ある農林業の推進						
	施策の展開	(1) 農業生産基盤の整備						
予算科目	会計	一般	款	5	項	1	目	5
関連計画・根拠法令等	富里市畑地排水路整備事業補助金交付要綱 基盤整備事業補助金交付要綱							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H9				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	雨水による冠水で、農作物が被害を受けている。また、市内で県営畑地総合整備事業で排水整備が計画されているが、下流との調整などで計画どおり進んでいない状況である。						
	対象(誰・何を)	維持管理対象の排水路						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	雨水による冠水で受ける、農作物への被害軽減のため、整備した排水路の維持管理を行う。また、畑地の冠水被害の軽減を図ることを目的として整備するための補助金を交付する。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	水路清掃は委託とし、補助金交付は要綱に基づき直営とした。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値				指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度		
維持管理施設	箇所	1	1	1	1	維持管理を行うことから、整備された施設数とした	
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由			
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由		
		( )					
		( )					
		( )					

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
農業用水路整備事業	市民経済環境部	農政課	土地改良班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	維持管理施設	箇所	—	—	1		1		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	排水路維持管理箇所	箇所	1	1	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	排水路維持管理箇所	箇所	1	1	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標      \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	農業用排水路としての機能が低下していたが、施設を改修することで排水機能が回復できたため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	農業用排水路として適切に機能するよう維持管理を引き続き行っていく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続  継続  主要事業  ○ 事業コード 3010213



【継続】の場合の区分 継続

部等名	課等名	班等名
市民経済環境部	農政課	農政畜産班

事業(予算)名	すいかの里生産支援事業							
総合計画体系	施策の大綱		第3章 みんなが活躍し、農・商・工がともに輝く活力あるまち					
	施策		施策1 魅力ある農林業の推進					
	施策の展開		(2) 農業経営の安定化					
予算科目	会計	一般	款	5	項	1	目	3
関連計画・根拠法令等	富里市すいかの里生産支援奨励金交付要綱							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H23				未定			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	市の特産物であり、富里市のイメージでもあるすいか栽培が近年、栽培の重労働や担い手不足などにより、生産者数や作付面積が減少している。						
	対象(誰・何を)	市内すいか生産者						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	市内すいか栽培生産者に対し生産支援奨励金を交付することにより、市の特産品であるすいかの生産量の維持拡大を図る。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	すいか生産者などが栽培面積等の減少を阻止しようと努力している中、市も特産品であるすいかに対してバックアップすることにより、生産者の生産意欲の向上を図る必要があるため						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
すいか栽培面積	ha	165.99	180	200	210	事業効果を表す数値として適しているため
奨励金件数	人	221	235	240	250	事業効果を表す数値として適しているため
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
すいかの里生産支援奨励金対象面積	ha	195.38 (H26)	200	KPI	すいかの生産を維持していくために対象となる奨励金対象面積を増やしていく必要があるため。	
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
すいかの里生産支援事業	市民経済環境部	農政課	農政畜産班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	すいか栽培面積	ha	—	—	180		200		
	奨励金件数	人	—	—	235		240		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	すいか栽培生産者	人	260	221	—	—	—	—
		すいか栽培面積	a	19,500	16,599	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	すいか栽培生産者	人	260	221	—	—	—	—
		すいか栽培面積	a	19,500	16,599	—	—	—	—
					—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	目標より実績値は下回ったが、市のすいかに対する奨励金があることにより、近年減少傾向が見受けられるすいか農家を維持することに繋がると考えられるため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	事業効果が見受けられるため、今後も事業を継続していく予定である。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	3010213
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
市民経済環境部	農政課	農政畜産班

事業(予算)名	経営所得安定対策推進事業
---------	--------------

総合計画体系	施策の大綱	第3章 みんなが活躍し、農・商・工がともに輝く活力あるまち
	施策	施策1 魅力ある農林業の推進
	施策の展開	(2) 農業経営の安定化

予算科目	会計	一般	款	5	項	1	目	9
------	----	----	---	---	---	---	---	---

関連計画・根拠法令等	主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律
------------	----------------------

事業期間	開始年度	開始する理由	終了予定年度	終了する理由
	H24		未定	国、県の施策と実施しているため

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	国は、これまで、米の需要バランスの維持と農家経営の安定を図るため、「生産数量目標の配分」により米の需給調整を図ってきた。今後は、国が策定する需給見通し等を踏まえつつ、行政・生産者等が一体となり、需要に応じた生産が行える状況となるよう米の生産調整を行なう必要がある。		
	対象(誰・何を)	市内水田保有者		
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	米の需要と価格安定のため、国・県から示される米の需要量に関する情報に基づき、水稲生産農家へ生産数量目標を提示する。 休耕田の保全管理及び転作作物の生産を実施した農家に、水田農家構造改革対策事業奨励補助を実施することにより、生産調整に推進し、経営の安定を図る。		
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用( )		
	事業手法選択の理由	地域再生協議会の事務局として、県における取組方針に基づき、事業を実施する必要があるため。		
	協働の取組	無	協働の取組内容	

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
生産調整面積	a	1,936	2,500	2,500	2,500	米の生産調整数量を確認するのに必要なため
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
経営所得安定対策推進事業	市民経済環境部	農政課	農政畜産班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	生産調整面積	a	—	—	2,500	—	2,500	—
			—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—
第三次実施計画	活動指標*	補助金額	千円	1,660	1,027	—	—	—
		転作等現地確認実施日数	日	5	5	—	—	—
				—	—	—	—	—
	成果指標*	水田農家構造改革対策事業奨励補助金交付申請者数	人	70	59	—	—	—
		米の生産者数	人	640	624	—	—	—
				—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

\* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	米価の価格安定及び水田農家の経営安定の観点から妥当である。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	継続することにより米価の下落と経営安定につながると考える。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	3010213
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
市民経済環境部	農政課	農政畜産班

事業(予算)名	経営体育成支援事業
---------	-----------

総合計画体系	施策の大綱	第3章 みんなが活躍し、農・商・工がともに輝く活力あるまち
	施策	施策1 魅力ある農林業の推進
	施策の展開	(2) 農業経営の安定化

予算科目	会計	一般	款	5	項	1	目	3
------	----	----	---	---	---	---	---	---

関連計画・根拠法令等	「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業補助金交付要綱及び実施要領
------------	------------------------------------

事業期間	開始年度	開始する理由	終了予定年度	終了する理由
	H19		未定	県の施策として実施していることから制度が廃止されるまで実施する。

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	市内園芸農業の強化を推進するには、生産性向上に必要な園芸生産施設、省力機械等の整備等が必要になるが、整備に要する費用が掛かる。		
	対象(誰・何を)	市内認定農業者、販売農業者		
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	園芸生産施設、省力機械等の整備、園芸施設の改修等に対し、整備補助を実施し、野菜等の生産安定と品質向上を目指し、生産地としての維持発展を図る。		
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )		
	事業手法選択の理由	県単の整備支援事業を活用することから、県要綱等に基づき市が行う手続きもあるため		
	協働の取組	無	協働の取組内容	

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
支援件数	件	11	20	20	20	事業効果を表す数値として適しているため
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
経営体育成支援件数	件	7 (H26)	30 (累計)	指標	市内園芸農業の強化を推進するため、支援を続けていく必要があるため	
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
経営体育成支援事業	市民経済環境部	農政課	農政畜産班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	支援件数	件	—	—	20		20		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	補助金額	千円	8,716	17,855	—	—	—	—
		事業実施申請件数	件	7	11	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	事業実施件数	件	7	11	—	—	—	—
		事業量(面積)	m <sup>2</sup>	—	—	—	—	—	—
		導入機械台数	台	7	12	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	県の事業実施要領に基づく施設や機械導入等に対する整備補助により、生産力向上と生産性の安定及び産地力の強化が図られている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	目標値を上回る実績であり、事業効果もみられることから、今後も継続を予定している。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	



第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	3010213
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分

継続
----

部等名	課等名	班等名
市民経済環境部	農政課	農政畜産班

事業(予算)名	産業まつり開催事業
---------	-----------

総合計画体系	施策の大綱	第3章 みんなが活躍し、農・商・工がともに輝く活力あるまち						
	施策	施策1 魅力ある農林業の推進						
	施策の展開	(2) 農業経営の安定化						
予算科目	会計	一般	款	5	項	1	目	3
関連計画・根拠法令等								
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	S49				なし			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	「すいかまつり」や「産業まつり」のイベントを開催し、生産者と消費者のコミュニケーションの場を提供している。この事業を実施し、農畜産物の即売や商工展等を通じて、農業・商工業の理解と関心を高め、今後の産業振興を図っている。						
	対象(誰・何を)	農産物生産者、畜産物生産者、商工業者、市民						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	市内で生産・飼養された農産物共進会・畜産共進会や農畜産物の即売会や商工展等と通じて、市内農業及び商工業を市紹介し、現在の発展の状況を把握すると共に、消費者の理解・関心を高め、今後の産業振興に資することを目的とし、「すいかまつり」「産業まつり」を開催する。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	実行委員会方式で実施しており、生産者と消費者のコミュニケーションの場を設け、産業振興を図る必要があるため						
	協働の取組	有	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
来場人数	人	22,000	23,000	23,000	23,000	生産者と消費者のコミュニケーションの場として提供しているため
参加団体	団体	76	80	80	80	生産者と消費者のコミュニケーションの場として提供しているため
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
産業まつり開催事業	市民経済環境部	農政課	農政畜産班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	来場人数	人	—	—	23,000		23,000		
	参加団体	団体	—	—	80		80		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	イベント開催回数	回	2	2	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	すいかまつり来場者	人	13,000	15,000	—	—	—	—
		産業まつり来場者	人	10,000	7,000	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	共進会の開催により農業技術の向上を図ることは、市農業の維持発展に直接結びつくものである。また、消費者を対象としているため現状にて適切である。 来場者も増加傾向にあり、目標達成は進んでいる。農産物の出荷時期に合わせているため、事業実施時期等の見直しについては難しいと考える。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	共進会の実施による農業技術の向上を図り、商工業の発展を紹介する機会として消費者の理解と関心を高め、産業の振興を図るために必要な事業である。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続  継続  主要事業  ○ 事業コード 3010213

➡【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
市民経済環境部	農政課	土地改良班

事業(予算)名 有害鳥獣被害防止総合対策事業

総合計画体系	施策の大綱	第3章 みんなが活躍し、農・商・工がともに輝く活力あるまち						
	施策	施策1 魅力ある農林業の推進						
	施策の展開	(2) 農業経営の安定化						
予算科目	会計	一般	款	5	項	1	目	6
関連計画・根拠法令等	鳥獣被害防止特別措置法, 鳥獣保護管理法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H29	イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害対策に伴う捕獲体制等の整備を図るため。			—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	イノシシ等の野生鳥獣により、農作物被害が増加している。						
	対象(誰・何を)	富里市有害鳥獣被害防止対策協議会, 富里市有害鳥獣捕獲従事者						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害を防止するため、個体数調整、被害防除、生息環境把握等の被害防止総合対策を行う。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	根拠法令の定める所により。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
農作物被害額	千円	4,554	3,644	2,734	1,824	事業効果を表す数値として適しているため。
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
有害鳥獣被害防止総合対策事業	市民経済環境部	農政課	土地改良班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	農作物被害額	千円	—	—	3,644		2,734		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	有害鳥駆除実施回数	回	10	10	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	被害件数	件	25	45	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

\* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	鳥類被害については、駆除により一定の効果があったものの、新たな獣種(イノシシ・アライグマ)の侵入及び生息数の増加により農作物被害額が増加したため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	有害鳥獣による被害は、今後も更に増加すると想定されるため、事業を継続し被害防止対策にあたる。今後の予定については、H30年度より鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、捕獲資器材の充実を図り、捕獲技術の向上並びに被害防除技術取得に係る研修会及び講習会を実施し、地域リーダー育成に努める。また、狩猟免許取得促進事業によりワナ猟免許所持者を確保する。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	030104
-------	----	------	---	-------	--------

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
市民経済環境部	農政課	土地改良班

事業(予算)名	多面的機能支払交付金事業
---------	--------------

総合計画体系	施策の大綱	第3章 みんなが活躍し、農・商・工がともに輝く活力あるまち						
	施策	施策1 魅力ある農林業の推進						
	施策の展開	(4) 農地の有効活用						
予算科目	会計	一般	款	5	項	1	目	5
関連計画・根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H26				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	農業者の減少や高齢化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の地域資源の保安全管理に対する担い手農家の負担の増加も懸念されている。						
	対象(誰・何を)	保全活動を行っている組織 保全活動している農地及び施設						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の保安全管理を行うことで、農村が有する多面的機能の適切かつ十分な発揮につながることから、地域の農業者を中心に、地域住民と地域資源の適切な保安全管理に対する取り組みを支援する。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 (地域活動組織 )						
	事業手法選択の理由	国の実施要綱・要領にて交付の方法等が規定されているため直営とした。						
	協働の取組	有	協働の取組内容	水路、農道等の草刈りなどを共同で行っている				

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
地域活動組織	地区	6	7	7	7	地域共同による保全活動を支援することから、活動組織とした
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
多面的機能支払交付金事業	市民経済環境部	農政課	土地改良班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	地域活動組織	地区	—	—	7		7		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	交付金額	千円	8,532	8,532	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	活動団体数	団体	6	6	—	—	—	—
		活動面積	a	18,708	18,708	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	地域共同による農用地,水路,農道等の地域資源の保全管理が行われたため。
		実績値を踏まえた今後の方針	追加等更に発展させる
		今後の方針の理由及び今後の予定	活動組織を支援することで,地域資源の保全管理が行われ,担い手農家の負担軽減が図られるため引き続き活動を支援する。また,新たな活動組織の設立を支援していく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	